



滋賀県感染症発生動向調査週報

Shiga Infection Diseases Weekly Report

令和7年 第25週 (6/16~6/22)

令和7年6月26日発行 滋賀県感染症情報センター

【TEL】077-537-7438 【Mail】eh4505@pref.shiga.lg.jp

1. 今週の主な動向

- 伝染性紅斑については、警報発令基準に達したため、県内全域に警報を発令します。多くの保健所圏域で増加しており、特に草津、甲賀、東近江、彦根、長浜保健所圏域で多く報告されています。全国や近隣府県においても多く報告され、増加傾向がみられています。主な症状や予防については、別紙「今週の Topic」や、以下の滋賀県ホームページをご確認ください。

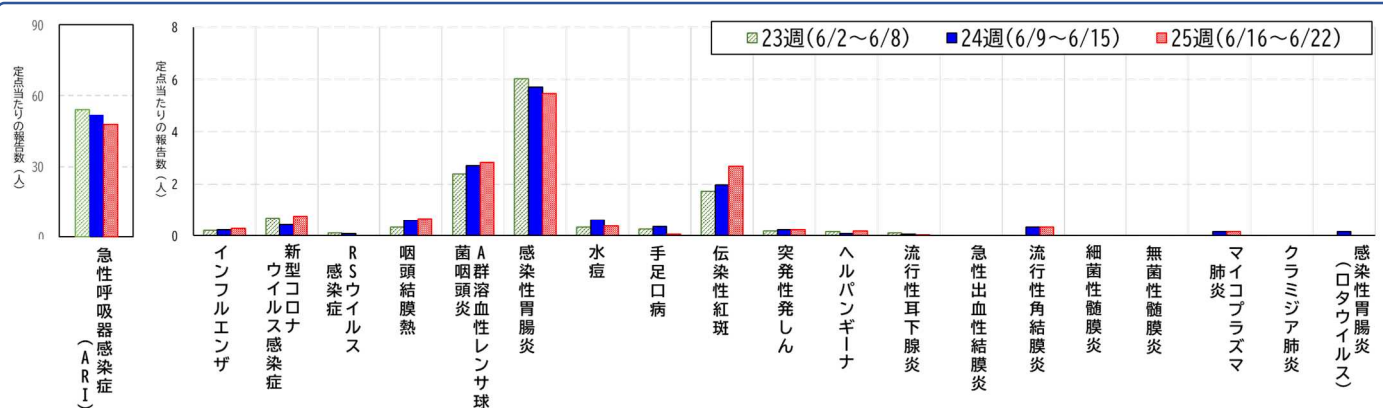
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/344119.html>

2. 全数把握疾患（今週報告例）

類型	疾患	診断週	保健所(i)	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	25	草津	80歳代	女	肺結核及び粟粒結核	県内	-
	結核	25	彦根	20歳代	女	無症状病原体保有者	-	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	24	甲賀	70歳代	男	-	県内	不明⑧ H血液群⑧ 不明⑧ ペロ毒素⑧ VT2
	腸管出血性大腸菌感染症	25	東近江	50歳代	男	-	-	O(115)⑧ ペロ毒素⑧ VT(型不明)
五類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	25	東近江	80歳代	女	-	県内	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	25	長浜	10歳未満	男	-	県内	ワクチン接種歴 無
	梅毒	25	大津市	30歳代	男	早期顕症梅毒 II期	国外	-
	梅毒	21	東近江	30歳代	女	無症状病原体保有者	-	-
	梅毒	24	東近江	50歳代	男	無症状病原体保有者	-	-
百日咳		報告数:24例 (10歳未満:2例, 10歳代:13例, 20歳代:2例, 30歳代:2例, 40歳代:1例, 50歳代:3例, 60歳代:1例, 70歳代:0例, 80歳代:0例, 90歳以上:0例) ※ 百日咳は、報告数が多いことから、報告数合計および年齢群別の報告数を掲載						

i. 発生届が届出された保健所を記載しています。患者住所ではありません。発生届は、全数報告の感染症を診断した医師から管轄保健所へ届出されます。

3. 定点把握疾患（五類感染症）の滋賀県の推移（今週と過去2週）



4. 病原体検出情報

(1) 病原体定点検出情報（検出された病原体からピックアップしてお知らせしています。詳細は月報・病原体情報に掲載しています。）

- ・ 第22週、第23週、第24週採取の検体からライノウイルスAが検出されています（上気道炎、下気道炎）。
- ・ 第22週、第24週採取の検体からパラインフルエンザウイルス4型が検出されています（上気道炎、下気道炎）。

(2) 定点以外の病原体検出情報（衛生科学センター等で検査した病原体に関する情報）

疾患名	届出週	検出病原体	関連情報
侵襲性髄膜炎菌感染症	第23週	<i>Neisseria meningitidis</i>	血清群：Y群 遺伝子型：1655 (ST-23 Complex)

今週の Topic

伝染性紅斑の警報を発令します

伝染性紅斑は、第 25 週(6/16～6/22)に「感染症発生動向調査に基づく流行の警報および注意報システムによる情報提供要領」の警報発令基準に達したため、県内全域に警報を発令します。

■ 伝染性紅斑とは

伝染性紅斑は、両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれ、小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。感染経路は、感染した人の咳のしぶき（飛まつ）を吸い込むことによる**飛沫感染**や、感染者との直接的または間接的な接触による**接触感染**が知られています。

■ 症状

約 10～20 日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん（紅斑）が現れ、続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がり、1 週間程度で消失します。多くの場合、頬に発しんが出現する 7～10 日くらい前に、微熱やかぜのような症状がみられ、この時期に最も感染力が高くなりますが、発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。

■ 滋賀県の発生動向(右グラフ)

滋賀県では、2019 年に大きな流行が見られましたが、新型コロナウイルス感染症のパンデミック後(2020 年以降)は、大きな流行は見られませんでした。

2025 年は 1 月頃から例年に比べ報告数が多い
状況が続き、4 月頃から増加が顕著となり、
第 25 週(6/16～6/22)に**警報基準に達**しました。
全国的にも同様に増加しています。

■ 治療・予防

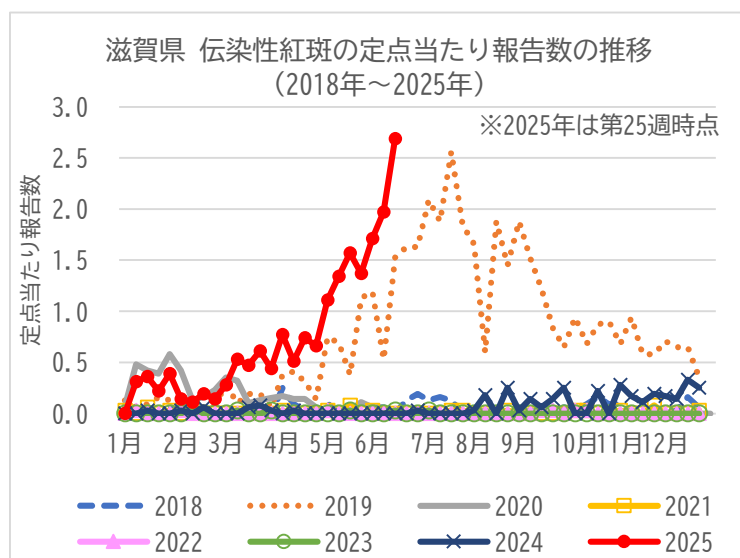
現在、有効なワクチンはなく、特別な治療方法也没有。基本的には軽い症状なので、経過観察を含め、症状に応じた治療となります。

一方、これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産となる可能性があります。上記のような伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

一般的な感染対策としては、こまめな手洗いや、せきやくしゃみをする時には口と鼻をハンカチ等でおおうなどの「咳エチケット」を心がけることが大切です。特に保育施設や幼稚園、小学校などでは、かかりやすい年齢層が集団生活をしており、感染が広がりやすいため、職員と子ども達がしっかりと手洗いをすることが大切です。

【参考文献】

- ・伝染性紅斑とは(滋賀県): <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuji/344119.html>
- ・伝染性紅斑(厚生労働省): https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/fifth_disease.html
- ・伝染性紅斑とは(国立感染症研究所): <https://id-info.iihs.go.jp/diseases/ta/5th-disease/010/5th-disease.html>



【資料編】

 1. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和7年および令和6年に報告のあった疾患）^{ii, iii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核			61 4.35	16 4.64	7 1.99	6 4.30	11 4.93	10 6.56	9 6.22	2 4.56	6028 4.85	134 9.52	16238 13.06
三類 腸管出血性大腸菌感染症			8 0.57	0 0.00	3 0.85	2 1.43	2 0.90	0 0.00	1 0.69	0 0.00	753 0.36	34 2.42	3748 3.01
四類 E型肝炎	○		1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	271 0.36	2 0.14	527 0.42
A型肝炎			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	67 0.36	1 0.07	137 0.11
オウム病			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	7 0.01	1 0.07	4 0.00
つつが虫病			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	85 0.07	3 0.21	353 0.28
デング熱	○		2 0.14	0 0.00	2 0.57	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	63 0.05	3 0.21	231 0.19
レジオネラ症			7 0.50	1 0.29	1 0.28	0 0.00	2 0.90	1 0.66	0 0.00	2 4.56	881 0.71	39 2.77	2428 1.95
レプトスピラ症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.00	1 0.07	53 0.04
五類 アメーバ赤痢			2 0.14	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.66	0 0.00	0 0.00	210 0.17	4 0.28	523 0.42
ウイルス性肝炎			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	105 0.08	1 0.07	228 0.18
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			2 0.14	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.90	0 0.00	0 0.00	0 0.00	652 0.52	22 1.56	2293 1.84
急性弛緩性麻痺			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	12 0.01	1 0.07	48 0.04
急性脳炎			2 0.14	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	1 0.66	0 0.00	0 0.00	274 0.22	1 0.07	633 0.51
クロイツフェルト・ヤコブ病	○		1 0.07	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.69	0 0.00	77 0.06	1 0.07	172 0.14
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	○	15 1.07	3 0.87	5 1.42	0 0.00	4 1.79	3 1.97	0 0.00	0 0.00	743 0.60	19 1.35	1893 1.52
後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)			2 0.14	2 0.58	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	369 0.30	6 0.43	1010 0.81
ジアルジア症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	15 0.01	1 0.07	42 0.03
侵襲性インフルエンザ 菌感染症	○	○	10 0.71	2 0.58	6 1.70	0 0.00	1 0.45	0 0.00	1 0.69	0 0.00	377 0.30	8 0.57	651 0.52
侵襲性髄膜炎菌感染症	○		1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	47 0.04	2 0.14	66 0.05
侵襲性肺炎球菌感染症	○	○	32 2.28	12 3.48	4 1.13	2 1.43	5 2.24	4 2.62	5 3.45	0 0.00	2169 1.74	32 2.27	2555 2.05
水痘(入院例)			2 0.14	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.69	0 0.00	294 0.24	3 0.21	486 0.39
梅毒	○		31 2.21	10 2.90	5 1.42	1 0.72	6 2.69	3 1.97	6 4.14	0 0.00	6288 5.06	87 6.18	14816 11.91
播種性クリプトコックス 症	○		2 0.14	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.90	0 0.00	0 0.00	0 0.00	78 0.06	3 0.21	191 0.15
破傷風			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	33 0.03	1 0.07	86 0.07
バンコマイシン耐性腸 球菌感染症	○		1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	45 0.04	0 0.00	124 0.10
百日咳	○	○	359 25.63	91 26.40	67 19.01	36 25.81	47 21.07	44 28.85	51 35.23	23 52.40	31966 25.71	139 9.88	4093 3.29
麻疹	○	○	2 0.14	1 0.29	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	142 0.11	1 0.07	45 0.04

ii. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。

iii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たりの報告数（全国は前週）の値^{iv}

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県							保健所別 (vii)							全国 (前週)	基準値		
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (v)	例年より 多い (vi)	例年より 非常に 多い(vi)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	警報 開始		警報 終息	注意報	
急性呼吸器 感染症 (ARI) (定点数:58)	急性呼吸器感染症 (ARI)	54.00	52.02	47.88	-	-	-	42.54	50.46	44.43	61.75	31.86	73.00	9.67	56.07	-	-	-	
	インフルエンザ	0.21	0.22	0.28		○		0.15	0.23	0	0.13	0.57	0.71	0.33	0.30	30	10	10	
	新型コロナウイルス 感染症	0.69	0.43	0.78	-		-	0.69	1.46	0.43	1.13	0.14	0.57	0	0.90	-	-	-	
小児科 (定点数:35)	RSウイルス感染症	0.11	0.09	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.22	-	-	-	
	咽頭結膜熱	0.31	0.60	0.66		○		0.38	1.38	0.75	1.00	0	0.25	0	0.74	3	1	-	
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	2.40	2.71	2.83		○		1.75	2.88	2.50	7.00	0.50	2.75	2.00	3.03	8	4	-	
	感染性胃腸炎	6.03	5.71	5.46		○		2.88	5.38	3.50	10.40	3.50	10.00	2.50	6.25	20	12	-	
	水痘	0.31	0.63	0.37		○		0	0.25	1.25	0	1.00	0.50	0	0.61	2	1	1	
	手足口病	0.26	0.34	0.06				0	0	0.25	0	0	0.25	0	0.25	5	2	-	
	伝染性紅斑 (リンゴ病)	1.71	1.97	2.69	警	○	○	1.38	3.75	3.75	2.80	4.00	2.00	0	2.03	2	1	-	
	突発性発しん	0.17	0.23	0.23	-			0.38	0.25	0.25	0.20	0	0.25	0	0.39	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	0.14	0.09	0.17				0.13	0.25	0	0.20	0	0.25	0.50	0.24	6	2	-	
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.11	0.06	0.03				0.13	0	0	0	0	0	0	0.11	6	2	3	
	眼科 (定点数:9)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	1	0.1	-
流行性角結膜炎		0	0.33	0.33		○	○	0	0	3.00	0	0	0	0	0.83	8	4	-	
基幹 (定点数:7)	細菌性髄膜炎	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.02	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.07	-	-	-	
	マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0.14	-	○		0	0	0	1.00	0	0	0	0.52	-	-	-	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.14	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.09	-	-	-	
	インフルエンザ入院	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.04	-	-	-	
	COVID-19入院	0.57	0.57	0.71	-		-	2.00	1.00	0	1.00	0	1.00	0	0.75	-	-	-	

iv. 定点把握疾患:人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

v. 定点当たり報告数が「警報基準値」に達した時に警報(「警」)を発令します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」に達した場合に注意報(「注」)を発令します。

警報・注意報のない疾患については、「-」と表記しています。

vi. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)。

新型コロナウイルス感染症は、過去5年のデータがないため、昨年の同週より多い場合に「例年より多い」に「○」を標記します。標準偏差を計算できないことから「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。

vii. 赤字斜字: 警報開始基準を超過、紫字斜字: 注意報基準を超過

3-1. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

「-」: 報告なし

急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (58医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	16	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	9	3	-	1	-	1	-	-	1
大津市保健所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
草津保健所	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-
長浜保健所	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (58医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
新型コロナウイルス 感染症	45	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	4	2	8	4	10	6	3	5
大津市保健所	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	2	3	1
草津保健所	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	3	6	1	-	1
甲賀保健所	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
東近江保健所	9	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	2	1	1	1	-	1
彦根保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (58医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～
急性呼吸器感染症 (ARI)	2777	244	990	500	185	92	118	117	79	97	83	146	126
大津市保健所	553	61	150	103	48	33	8	26	20	23	19	38	24
草津保健所	656	59	235	75	34	29	75	51	22	33	19	18	6
甲賀保健所	311	36	123	42	19	6	9	11	6	11	11	17	20
東近江保健所	494	32	179	103	30	10	16	19	17	16	14	34	24
彦根保健所	223	7	65	55	11	6	10	3	8	7	11	21	19
長浜保健所	511	47	227	111	40	7	0	7	5	7	9	18	33
高島保健所	29	2	11	11	3	1	0	0	1	0	0	0	0

3-2. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

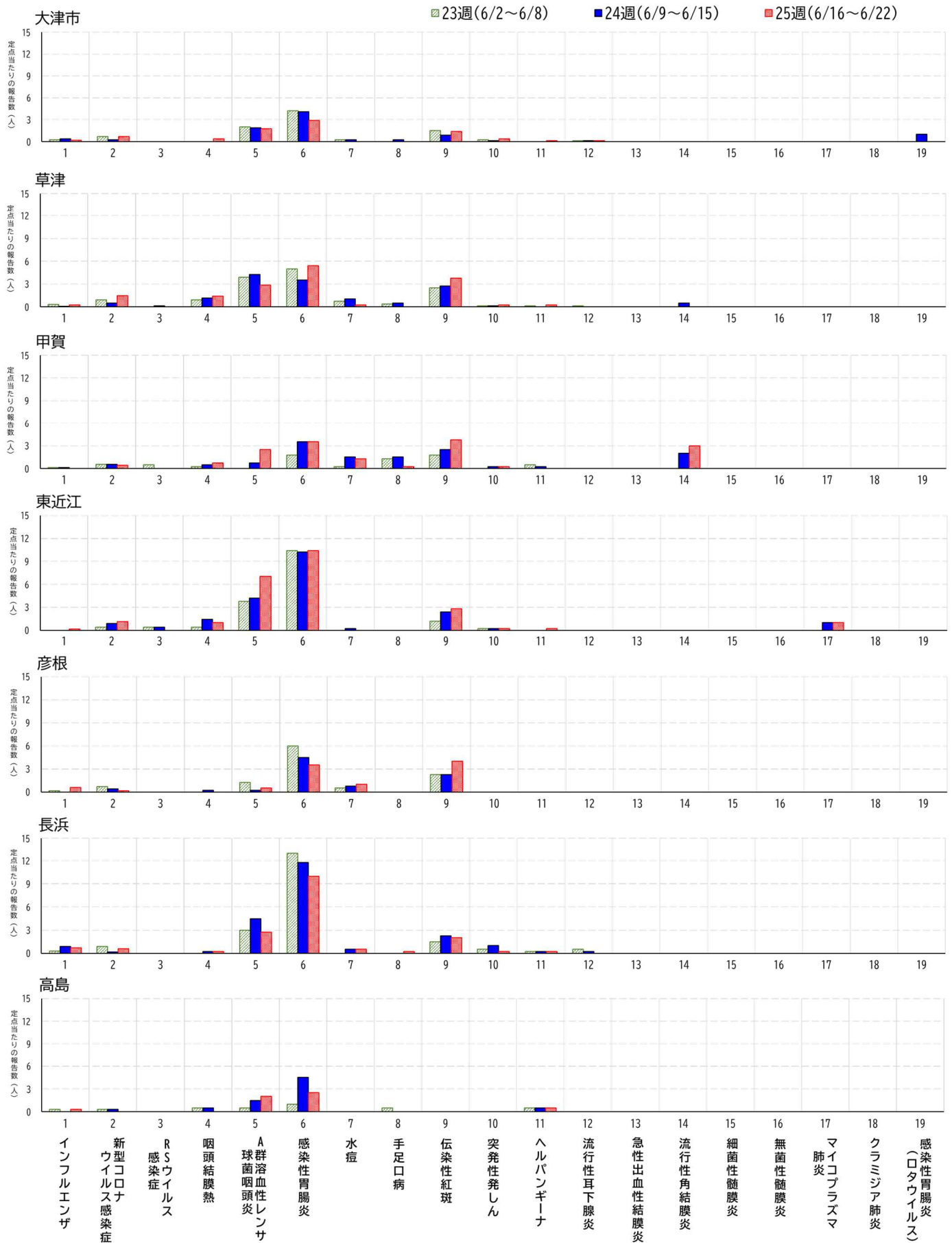
「-」: 報告なし

小児科定点 (35医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	23	-	3	6	6	2	2	1	-	2	-	-	-	-	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	99	-	-	3	7	4	13	17	17	12	8	7	8	-	3
感染性胃腸炎	191	2	14	22	32	25	16	10	14	14	12	8	20	2	-
水痘	13	-	-	1	-	-	-	1	1	2	2	2	2	1	1
手足口病	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	94	-	-	2	3	12	14	11	17	14	8	8	4	-	1
突発性発しん	8	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	6	-	-	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

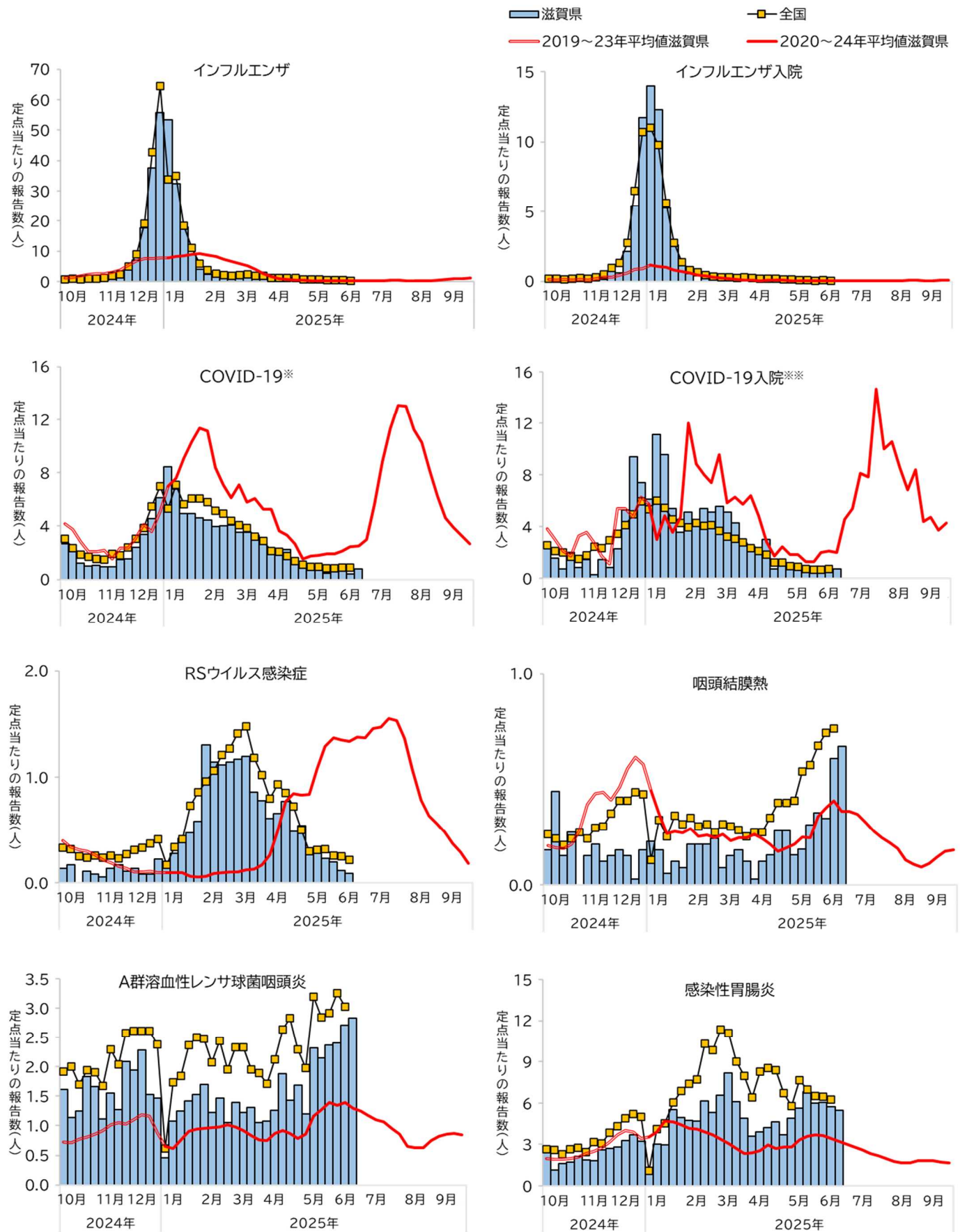
眼科定点 (9医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ入院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新型コロナウイルス 感染症入院	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4

4. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（今週と過去2週）



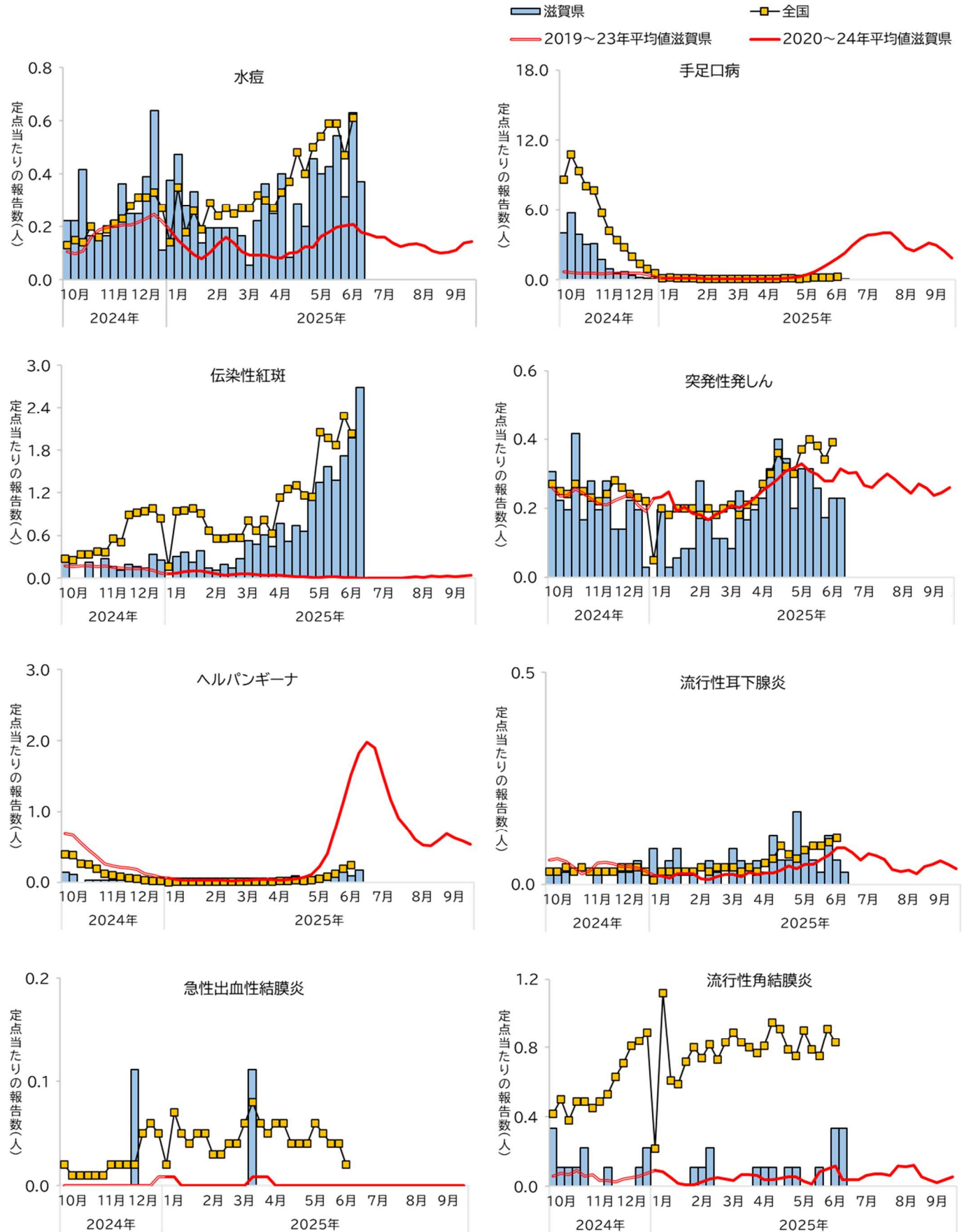
5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）



※過去5年分のデータがないため、『2019年～23年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2023年』の値、『2020年～24年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2024年』の値を掲載しています。

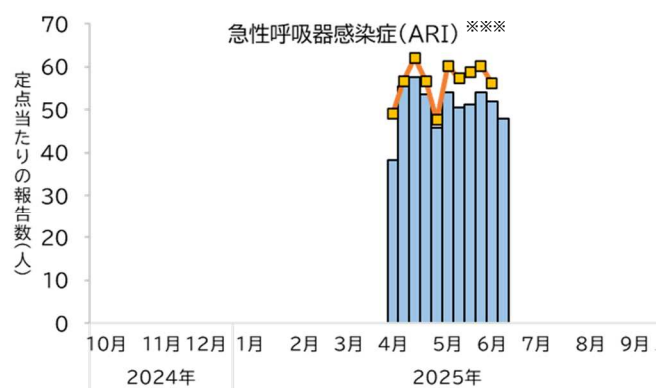
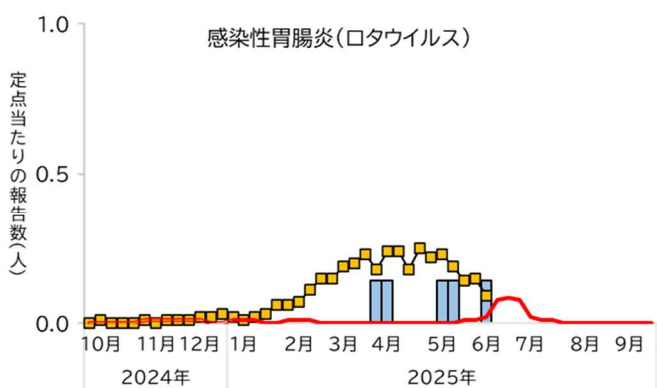
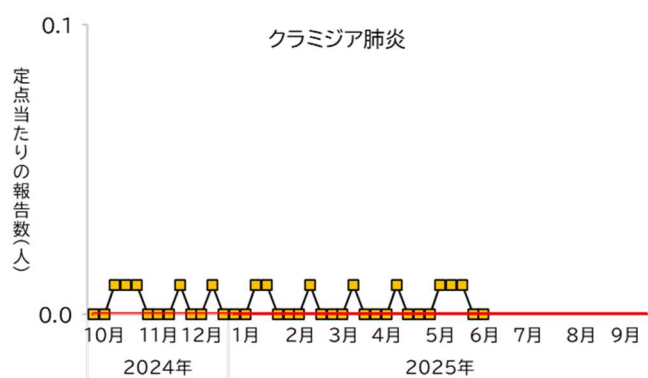
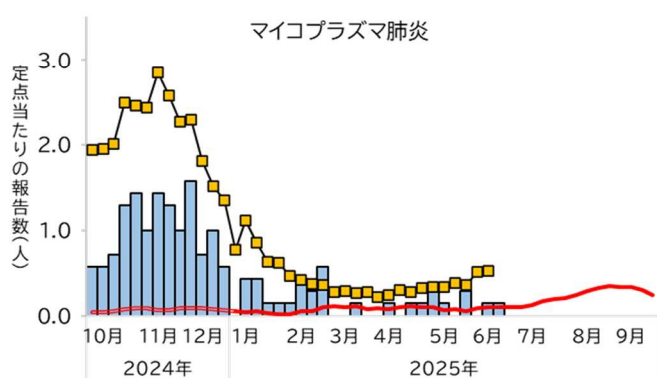
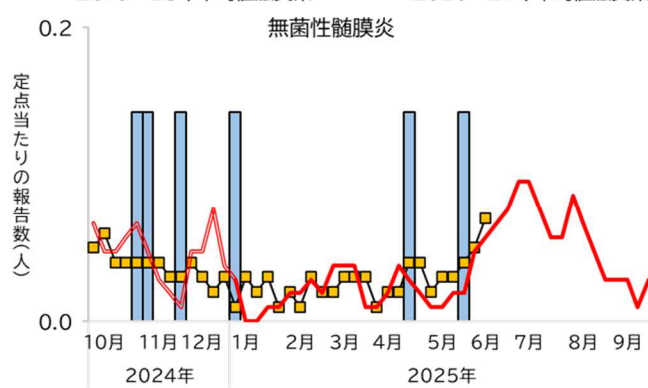
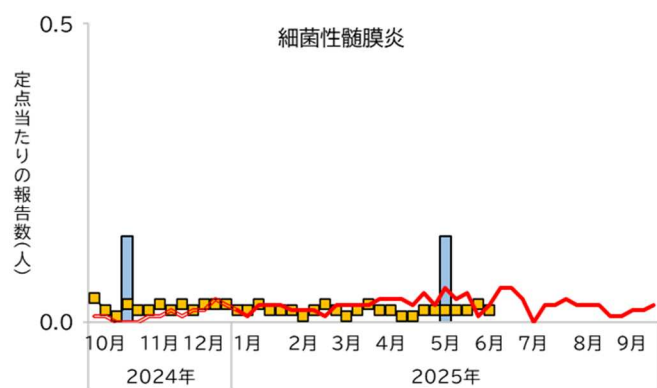
※※COVID-19と同様に、平均値ではなく1年前のデータを掲載しています。COVID-19入院サーベイランスが開始された2023年9月（第39週）からのデータを掲載しています。

5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）



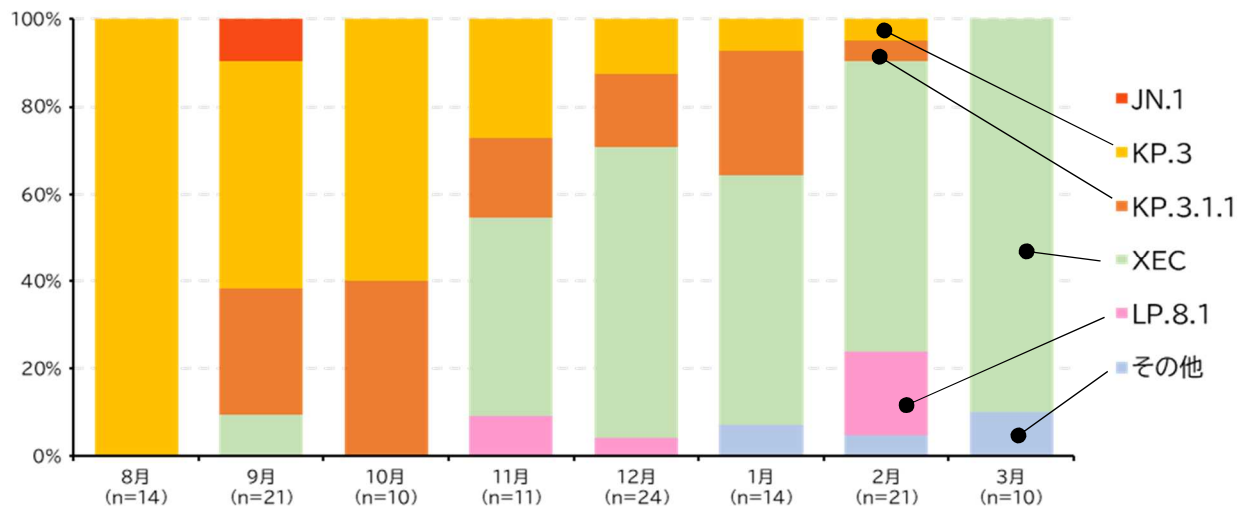
5-3. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

■ 滋賀県 ■ 全国
— 2019～23年平均値滋賀県 — 2020～24年平均値滋賀県



※※※急性呼吸器感染症(ARI)は2025年第15週から報告が始まったため、過去5年のデータ(折れ線グラフ)はありません。

6. 【第19週更新】新型コロナウイルス感染症月別ゲノム解析結果 滋賀県（検体採取月別）



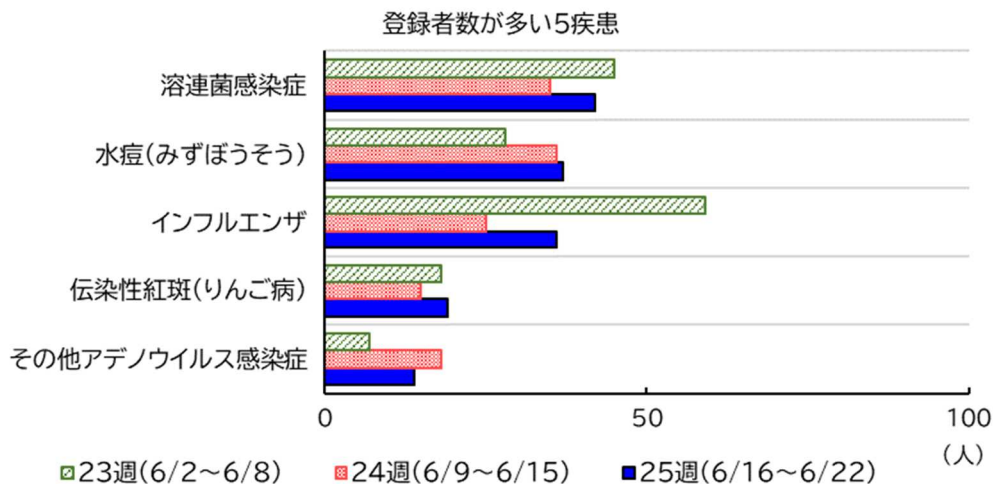
※解析結果が判明した週に更新します。直近は速報値であるため、値が変わることがあります。

※※WHO の分類に基づき計上しています。

7. 今週の学校等欠席者・感染症情報システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。

入力いただいたデータを集計して掲載しています。



8. 参考情報

【全国情報】

『感染症発生動向調査 週報(IDWR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

『病原体検出情報(IASR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/index.html>

『インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/infu/school/flulike.html>

【届出対象疾患・届出基準】

『感染症法に基づく医師の届出のお願い』

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kekaku-kansenshou11/01.html

- 滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

- 本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP: <https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>

